

第2次北見市社会教育計画に係る

令和元年度（平成31年度）点検・評価について

1 なぜ、評価が必要なのか？重要なのか？

- ①計画は達成目標であり、5ヶ年かけてその実現を図っていくため、1年毎の検証、見直しをしながら、達成目標に近づけていくためです。
- ②今後より良い事業の成果を生むためのステップとして、分析・判断などの評価がとて重要となります。
- ③行政のみが単独で行なう評価ではなく、社会教育委員の方の評価が入ることにより、評価がより明確化されるためです。

2 誰が、評価をするのか？

- ①事業を行なった職員、担当者を中心とした行政 = 自己評価
- ②社会教育委員 = 行政ではない、第三者評価

3 なにを、評価するのか？

- ①計画の各推進区分を中心に点検・評価する
下記の②及び③を参考に、社会教育委員の方に評価していただく
- ②各事業の結果（参加者数や参加アンケートなど参考）を評価・点検する。
- ③各事業の成果や効果（事業の波及効果等を参考）を評価・点検する。

4 いつ、評価するのか？

- ① 年度事業終了後に事後評価を行う。= 自己評価
- ② ①を次年度中に、社会教育委員の会で点検・評価し、
総括的評価を行なう。= 第三者評価
- ③結果を、生涯学習課のHPに掲載し、次年度に生かす方策を検討する。

5 どのように、評価するのか？

- ① 各事業の「令和元年度（平成31年度）事業評価表」を参考にする。
- ② 令和元年度（平成31年度）の成果が記載されているので、社会教育委員の会議において意見交換をし、推進区分の点検・評価を行う。
- ③「事業評価表」の基準
 - (1) 事業主旨に沿った、事業毎のチェック項目を設定
 - (2) チェック項目を4段階評価で点検・評価する。(◎ ○ △ — 別紙参照)
 - (3) チェック項目評価及び事業の成果と課題をもとに、事業の評価を同じく4段階で行なう。(◎ ○ △ — 別紙参照)

●評価の循環（全体像）

